

《注意点》

授業内の表示では「共通テスト」が「センター」と表記されていますが、学習内容に問題はありませぬ。共通テストの対策として、ご受講ください。

一、「共通テスト国語」って、どんなカンジってどんな勉強をすればいいの？

共通テスト国語 80分

80分	
論述的文章	25分
文学的文章	15分
古文	20～25分
漢文	15～20分

※時間配分はあくまで目安です。

長文！難文！選択肢長くて、難問だ!!

つまり共通テスト国語は、

超難しい上に時間がない!

ゆえに、

共通テスト国語を征服するには、

次の二点が必要になってくる。

1 本文は大まかにスピーディに読む技術

But

2 設問と選択肢は緻密に分析して解く技術

→ 講義ではコシを演習・訓練します。

夏期講習もぐじ

- 一講 長～い共通テスト古文を大まかにスピーディに読む方法
- 二講 「敬語」の復習
- 三講 「解釈問題」の解き方
- 四講 「心情・理由・主張問題」の解き方
- 五講 「和歌問題」の解き方

冬期講習もぐじ

- 一講 「解釈問題」の復習と実戦
- 二講 「心情・理由・主張問題」の復習と実戦
- 三講 「和歌問題」の復習と実戦
- 四講 総合演習 ①
- 五講 総合演習 ②

《解釈問題に挑戦してみよう！》

次の文章は、木下長嘯子(ちようしょうし)『うつなる松』の一節である。筆者(翁)の十七になる娘は四月から病の床にあり、回復の兆(しるし)も見えないまま、新年を迎えた。これを読んで後の問いに答えよ。

昨日といひ今日と暮らすほどに、いつしか年も返りぬ。睦月(むつき)は事(こと)立つて、人(ひと)ごとに気色(きしよ)異なる装(ま)ひども響(こ)みののしれど、「この人のいどどなやまじく、うたてあれば、耳(みみ)のよそにて、「いかにせん、いかにせん」と、あから目(あからめ)もせず、つて添(そ)ひつう嘆(なげ)くよりほかの」となし。軒端(のき)の梅(うめ)の、かつ咲(さ)きそめたるを、女の童(わらわ)折(お)りて、「君(きみ)ならでは」と見(ま)せたりしかば、顔(かほ)近く引(ひ)き寄せ、「うれしげにも咲きたる花(はな)かな。色(いろ)よりも香(かほ)こそあはれなれ。我(われ)はかく、今日(けふ)明日(あした)とおほゆるを、げに「この世(よ)のほかの思(おも)ひ出(で)れならんかし。桜(さくら)はまだしみて見(ま)ひらんぞ口(くち)惜(お)しき」など、^A思(おも)ひ入れたる顔(かほ)のほひ、あらぬ人(ひと)なれど、さすがになつかしからずはあらず。

〔注〕事立つ——普段とは違う特別なことをさす。

2君ならでは——「君ならではたれかに見せん梅の花(うめ)の色(いろ)をも香(かほ)をも知る人(ひと)ぞ知る」(『古今和歌集』春上、紀友則)を踏まえている。

問1 傍線部Aの解釈として最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

- ア あから目もせず
- ① よそ見もしないで
 - ② 泣きはらすこともなへ
 - ③ 一睡もしないで
 - ④ 注視することもなく
 - ⑤ 周りの目も気にしないで

問2 傍線部A「思ひ入れたる顔のほひ、あらぬ人なれど、さすがになつかしからずはあらず」とあるが、この部分の解釈として最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

- ① 花に思いをめぐらせている娘の顔の様子は、病気のためまるで別人だけれども、やはりいとしく思わずにはいられない。
- ② 死を意識して悲しみに沈んでいる娘の顔の様子は、命のない人のようなだが、それでも心がひかれずにはいられない。
- ③ 女の童を思いやる娘の顔色は、病気のせいで以前と同じ人とは思えないが、やはりかわいと思わずにはいられない。
- ④ 梅の花の色香を深く味わっている娘の顔の様子は、病人とは思えないけれども、やはり心配せずにはいられない。
- ⑤ 過去の思い出にひたっている娘の顔色は、病気のため本人ではないようだが、それでも慕わしく思わずにはいられない。